

# 学校教育推進室だより

東大阪市教育委員会 学校教育部 学校教育推進室 令和6年6月4日  
〒577-8521 東大阪市荒本北一丁目1番1号 TEL06-4309-3268~9

学校教育基本目標

すべての子どもに生きる喜びとあすをつくる力を

重点目標

総合的視点に立つ教育の推進

人権尊重に徹した教育の実践

「探究と対話」をもとに学び続ける教職員へ

信頼に応える学校園づくり

学校園・家庭・地域の協働



## 全国学力・学習状況調査に見るこれからの学び・求められる力

令和6年4月18日（木）に全国学力・学習状況調査が行われました。この調査は、教育や教育施策の成果と課題を検証し、改善を図るために行われるものです。毎年、結果をしっかりと分析して、今後の学校教育がよりよくなるように反映させていますが、実は、結果だけでなく、取り扱われる問題にも注目しています。「子どもたちにこんな力をつけたい」そのためにも、「このような授業を実現してほしい」という、文部科学省の思いが問題に盛り込まれているからです。その一部をご紹介します。



中学校の国語の問題では、「フィルターバブル現象」が取り上げられました。インターネット等の閲覧履歴が蓄積された結果、使用者のニーズに合った情報が提供されるようになる一方で、好みに合わない情報がはじかれてしまい、多様な意見に触れる機会がなくなったりする状態のことです。この問題では、数人の生徒がフィルターバブル現象について触れながら、読む本を選ぶ際にインターネットの情報を参考にすることについて話し合っている様子が題材となっています。

小学校の国語の問題では、「オンライン交流」が取り上げられました。授業で他の学校の児童と委員会活動の内容を交流

し、得た情報を整理する様子が題材となっています。

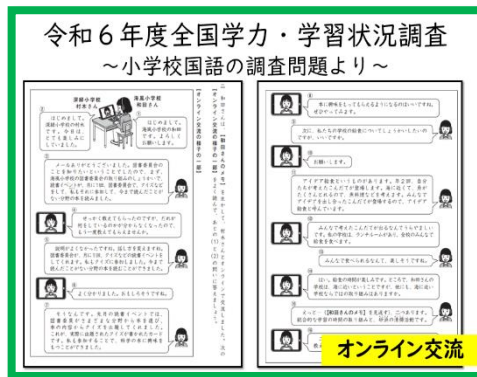
どちらも、多様な意見をくみ取る力、情報を分析し整理する力、また、多様な意見を参考にして自分の意見を組み立てて、わかりやすく伝える力が問われています。

対面、オンラインの別はありますが、子どもたちが対話し、考えを深めている場面が設定されていることも特徴的です。これからの授業では、このような学びが求められます。

子どもたちが学びを深める対話の場面をどのように設定するか、そのためにはどんなツールが使えるのか、友達と対話をして考えを深めたり、一人で気づきをまとめたり熟考したり、材料となる情報を集めたり、それぞれの子どものペースに合わせて学びを進めるためにどうしたらよいか、学校では、今、様々な方法に挑戦し、日々、授業改善を行っています。

市教育委員会でも、学校が新しい学びの在り方を実現する支援として、新しい研修の在り方を取り入れています。例えば、ICT 端末を活用して、参加者が「これから求められる学び」について考えたことを交流し、議論を深める研修を各学校へ訪問し実施しています（写真右下）。ICT を使うと、グループで考えをまとめつつ、同時に、他のグループで話し合われていることも参照できるため、より広い視野で議論を進めることができます。研修の内容を身につけるとともに、全国学力学習状況調査で提案された授業形式の一部を研修という形で経験し、これからの新しい授業を作り出す材料とすることをねらいとしています。

子どもも大人も主体的に意見を交わし、学び合う学校教育の実現に向けて取り組んでいます。



# 熱中症を防ぐために

熱中症は、暑い環境で体温の調節ができなくなった状態で、めまいや吐き気、頭痛、失神等様々な症状をきたし、最悪の場合は死に至る疾患です。

熱中症警戒アラートが発表されている日には、下記の熱中症の予防行動を積極的にとりましょう。

## ～熱中症の予防行動～

※ 厚生労働省 HP 参照

### こまめに水分を補給する

室内でも、屋外でも、のどの  
渇きを感じなくても、こまめ  
に水分・塩分、スポーツドリ  
ンクなどを補給しましょう



厚生労働省 HP  
熱中症予防のための情報・資料サイト

### 暑さを避ける、身を守る

#### 室内では

- ・扇風機やエアコンで温度を調節
- ・遮光カーテン、すだれ、打ち水を利用
- ・室温をこまめに確認
- ・WBGT値も参考に



#### 屋外では

- ・日傘や帽子の着用
- ・日陰の利用、こまめな休憩
- ・天気の良い日は、日中の外出をできるだけ控える



#### からだの蓄熱を避けるために

- ・通気性のよい、吸湿性・速乾性のある衣服を着用する
- ・保冷剤、氷、冷たいタオルなどで、からだを冷やす

## 6月は「子どもの安全確保推進月間」



大阪府教育庁では、6月を「子どもの安全確保推進月間」、また6月8日を「学校の安全確保・安全管理の日」と定めています。

学校園では危機管理体制の点検や教職員研修、子どもの危険予測・回避能力の向上、安全への意識向上に向けた取組みとして防犯教室や訓練を実施しています。『愛ガード運動』も今年で20年目を迎えました。雨の日も風の日も登下校の見守り活動をしていただいている協力員のみなさまに、心よりお礼申し上げます。今後も、子どもたちが安心して元気に学校園生活を送れるよう、学校園・家庭・地域が一体となった取組みを推進していきます。みなさまには下記の点についてご協力をお願いします。

「地域の子どもは地域で守る！」を合言葉にたくさんの愛ガード運動協力員の方の力で、この活動は続いています。

#### 愛ガード協力員さんの見守り活動の様子



- 「ながら見守り」とは、登下校時間帯に合わせて、花の水やり、買い物、散歩等しながら、日常生活の中で防犯の視点を持って子どもの安全を見守る活動です。ご協力をお願いします。
- 愛ガード運動への協力（新たに協力いただける方は小学校にお問い合わせください）
- 不審者被害はまず警察に通報すること など